

行政事業レビューシート (総務省)

予算事業名	アフリカ支援関連番組発信促進事業の推進	事業開始年度	平成3年度	作成責任者		
担当部局庁	総務省情報流通行政局	担当課室	衛星・地域放送課国際放送推進室	室長 松下 整		
会計区分	一般会計	上位政策	ユビキタスネットワーク整備費			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法(平成11年法律第91号) 第4条第66号	関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第4回アフリカ開発会議(TICADIV)において打ち出され、洞爺湖サミットにおいて確認された我が国の対アフリカ支援策は、成長のためのインフラ整備、民間投資、農業生産、保健医療、気候変動問題等多岐に渡っているが、こうした施策を実効あるものとするためには資金援助、人材派遣の他に啓発宣伝が必要不可欠である。こうした啓発宣伝としては、現地放送事業者と連携しながら良質な放送番組を提供することが最も有効と考えられるところ、アフリカ諸国については、現地放送事業者の放送施設や番組作成能力が十分ではない。 そこで、我が国で制作された番組の中で関連するものを選択・整理した番組ライブラリーを作成する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国で制作された放送番組のうち、アフリカ諸国の支援に資するものを外国語版に改編し、アフリカ諸国の放送事業者に提供することが可能な国際ライブラリーを作成する団体を公募し、外部有識者からの意見を踏まえて事業の目的に最も合致した団体を選定し、当該団体に事業を実施させる。					
実施状況	<p>公募により決定された事業実施主体(財団法人放送番組国際交流センター)においては、上記事業目的に資する番組を公募し、応募された番組の中から番組交流評価委員会の助言をもとに12番組を選定して、それらのME版、英語版、フランス語版の制作を行った。なお、21年度に語版改編を行った番組及び本数は、以下のとおり。(ME版とは、音楽(music)と効果音(effect)のみの番組素材で、各国語に吹き替える際使用される。)</p> <p>【21年度語版改編番組】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)「プロフェッショナル 仕事の流儀 鳥インフルエンザを封じ込めろ～WHO・進藤奈邦子」(M、英、仏) 2)「プロフェッショナル 仕事の流儀 森に生きる、山に教わる～森林再生人・湯浅勲」(M、英、仏) 3)「食中毒 しるびよるミクロの悪魔」(M、英、仏) 4)「ABU未来への航海～珊瑚礁への旅～」(M、英、仏) 5)「ハイテクの職人たち」(仏) 6)「トヨタ世界一への条件」(仏) 7)「デザインウォーズ～ケータイ開発の裏舞台」(仏) 8)「ふしぎ情報局」(仏) 9)「育て！ウガンダ野球」(M、英、仏) 10)「E！気分」(M、英、仏) 11)「アフリカの知恵！～ケータイがゴリラを救う～」(M、英、仏) 12)「寄り添っていたい～看護師・徳永瑞子の夢～」(M、英、仏) <p>(注)括弧内「M」、「英」、「仏」について、順に「ME版」、「英語版」、「仏語版」を示す。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	39	38	37	37	0
	執行額	39	38	36		
	執行率	100%	100%	97%		
	総事業費(執行ベース)	112	117	123		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	政府開発援助通信・放送国際協力振興事業費補助金交付要綱第12条に規定する実績報告書により履行状況を確認している。 補助金の額の確定にあたっては、すべての支出に関して領収書等の厳格な証憑書類の提出を求め、支出額、支出内容が適切かどうか確認している。				
	見直しの余地	平成21年度からは、補助先(実施主体)を公募により決定している。平成21年度は、結果として、応募書が1者であったことから、平成22年度においては、より多数の者の応募が可能となるよう、①新規事業者が応募しやすくなるように公募要領の内容を見直し、②より広範囲へ周知し、③募集期間を長期化する、等により補助先の公募を実施したところ。なお、本事業は、財務省予算執行調査における指摘を踏まえ、廃止を含めた見直しを検討中。				
予算・監視の・所見率	廃止					
補記						

総務省
36百万円

我が国で制作された放送番組の中でアフリカ諸国の支援に資するものを外国語版に改編し、アフリカ諸国へ提供することが国際番組ライブラリーを作成する団体を公募

【公募】(応募者: 1団体)

A. (財)放送番組国際交流センター
36百万円

・制作の進行状況の管理
・国際版番組の監修

【公募】

【公募】

【公募】

【公募】

【公募】

B. (財)NHKインター
ナショナル
23百万円

C. (株)東放制作
2百万円

D. (株)テレビユー福島
3百万円

E. (株)日経映像
3百万円

F. RKB毎日放送(株)
3百万円

〔 上記実施状況欄の番組1～8の国際版を制作 〕

〔 上記実施状況欄の番組9の国際版を制作 〕

〔 上記実施状況欄の番組10の国際版を制作 〕

〔 上記実施状況欄の番組11の国際版を制作 〕

〔 上記実施状況欄の番組12の国際版を制作 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	国際版の制作	34	国際版制作費	ME版、英語版、仏語版の制作	3
監修費	制作段階の番組内容の監修	2			
計		36	計		3
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
国際版制作費	ME版、英語版、仏語版の制作	23	国際版制作費	ME版、英語版、仏語版の制作	3
計		23	計		3
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
国際版制作費	ME版、英語版、仏語版の制作	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
国際版制作費	ME版、英語版、仏語版の制作	3			
計		3	計		0

アフリカ支援関連放送番組発信促進事業の推進

1 施策の概要

第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）において打ち出され、洞爺湖サミットにおいて確認された我が国の対アフリカ支援策は、成長のためのインフラ整備、民間投資、農業生産、保健医療、気候変動問題等多岐に渡っているが、こうした施策を実効あるものとするためには資金援助、人材派遣の他に啓発宣伝が必要不可欠であり、こうした啓発宣伝としては、現地放送事業者と連携しながら良質な放送番組を提供することが最も有効と考えられるが、アフリカ諸国については、現地放送事業者の放送施設や番組作成能力が十分ではない。

そこで、我が国で制作されたアフリカ支援に資する番組を選択・整理した番組ライブラリーを作成することとし、そのために必要な番組改編費（アフリカ支援策の推進に関連する番組の英語、フランス語及びアラビア語への吹き替え経費部分）を補助する。

- (1) 助成対象主体：民間団体、公益法人、NPO法人
- (2) 助成対象経費：番組改編費

2 イメージ図

